

**あゆコロちゃんの年賀状を送ろう**

市ホームページからダウンロードできます。



全4種類

関観光振興課 ☎225-2448

編集・発行 / 厚木市政策部広報戦略課  
 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17  
 TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951  
 ホームページは

**婚活ツアー第1弾**  
 あつぎの魅力を体験!  
**寒川神社で良縁祈願 & ガラス制作体験**  
 日時 1月29日、10時～16時  
 コース 寒川神社で良縁祈願→ガラス制作体験→ホテルで交流会  
 料金 3500円

**婚活ツアー第2弾**  
 あつぎの食を満喫!  
**厚木産野菜を使った料理体験&イチゴ狩り**  
 日時 2月19日、10時～16時  
 コース 厚木産野菜を使った料理体験・交流会→イチゴ狩り  
 料金 3000円

**婚活ツアー第3弾**  
 あつぎの自然を満喫!  
**飯山・七沢を散策 & 森林セラピー®体験**  
 日時 3月19日、10時～16時  
 コース 長谷寺で良縁祈願→温泉旅館で交流会→七沢で森林セラピー®体験  
 料金 3500円

# 踏み出せ! 婚活



**あつぎの魅力に出会い 恋をしよう**  
**婚活ツアー 参加者募集**

いずれも対象は、結婚を希望する25～39歳の独身の男女各20人（学生は除く。男性は市内在住在勤のみ）。市ホームページの専用フォームまたは公共施設にある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで①12月22日②1月20日③2月20日（必着）までに〒243-8511企画政策課 ☎225-2455・☎225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選（結婚応援セミナー参加者を優先）。

詳しくは

モデル・衣装協力は湘北短期大学。ウエディングドレスは、同大学生生活プロデュース学科の学生が製作したもの

「もっと結婚したい」「良い出会いがあったらな」。そんな思いを持つ皆さんを、厚木市が応援します。旅館での食事や味覚狩り、自然体験など、厚木の魅力を満喫しながらすすきな出会いを探す婚活ツアーと、結婚希望者や親を対象にしたセミナーを開催し、結婚への第一歩をサポートします。

市では、人口減少に歯止めをかけ、まちに活力を生み出す地方創生に向けた取り組みを進めています。結婚支援は、20歳代の定住促進・転出抑制などを目指すプロジェクトの一環。いつまでも活力あるまちであるために、今後も継続的にプログラムを展開していきます。

この機会に、あなたも一歩踏み出し、このまちで幸せをつかんでみませんか。

企画政策課 ☎225-2455

**独身の方・親向け 結婚応援セミナー**

結婚したいあなたや、子どもの結婚を考えるあなたのために、結婚のきっかけとなるセミナーを開催します。

【日時】1月15日 ①10時30分～ ②13時15分～  
 ③2月11日 10時30分～（各回90分）

【会場】あつぎ市民交流プラザ

【対象】①市内在住在勤で25～39歳の男性60人 ②25～39歳の女性60人 ③市内在住で子どもの結婚を考えている親60人

【申込】①②12月22日③1月20日までに電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書き、〒243-8511企画政策課 ☎225-2455・☎225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

**無料**

<b>目次</b>	2面 施策評価の結果まとまる 市の取り組みの進捗状況を評価した「施策評価」の結果がまとまりましたので、紹介します。	3面 自転車のルールを守ろう 自転車の事故やトラブルが後を絶ちません。自転車に乗る際は、必ずルールを守りましょう。	4・5面 コミュニティ・スクール 保護者や地域住民が学校づくりに参加する、コミュニティ・スクールの取り組みを紹介します。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
-----------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------



行政評価

トピック

30のうち28の施策が「順調」

施策評価の結果まとまる

市では、将来に向けたまちづくりの方向性を定めた総合計画「あつぎ元気プラン」の進捗状況を検証するため、毎年施策評価を実施しています。評価の結果は、市民の皆さんが満足できる、より良いまちづくりを生かしていきます。

施策評価は、市民満足度調査の結果（左中欄参照）や交通事故発生件数・ごみの資源化率といった各施策の目標に対する達成率を点数化し、進捗状況を評価するものです。本年度の評価では、「子育て」「スポーツ」「自然環境」などの評価対象30施策のうち、28施策が計画に沿って順調に進んでいると評価されました（左欄参照）。

市民協働の意識が上昇

評価の中でも特徴的だったのは「市民参加・市民協働の推進」です。市民

現状に満足せず向上を

一方で、今回「おおむね順調」となっ

満足度調査で「満足」「やや満足」と回答した市民の割合が前回から10ポイント上昇しました。重要度も昨年の結果を4ポイント上回りました。これは、市民の皆さんが行政と共に、地域の課題を解決していく市民協働提案事業や安心・安全なまちづくりに積極的に取り組んでいることにより、市民協働の意識が高まっているためだと考えられます。

た施策は「都市農業・林業をいかした地域産業の実現」「安心して働くことができる社会の実現」でした。これらは取り組みのPR不足により、市民満足度の目標値に対する達成率が低いことや計画どおりに事業の成果が上がらなかったことが原因です。公募市民や学識経験者らで組織する総合計画審議会では「順調に進んでいる施策の中にも、遅れがみられる部分がある。より一層の取り組みが必要」との意見が出されました。現状に満足することなく、評価の結果を各部署で

施策評価結果



《評価対象》

- ①安心政策…子育て、福祉、人権尊重、安心・安全など9施策
②成長政策…学校・社会教育、文化・スポーツ振興など5施策
③共生政策…自然環境・ごみ対策など5施策
④快適政策…中心市街地・企業・商業活性化、観光、農業・林業、就労など7施策
⑤信頼政策…シティセールス、市民参加・協働、都市間連携など4施策

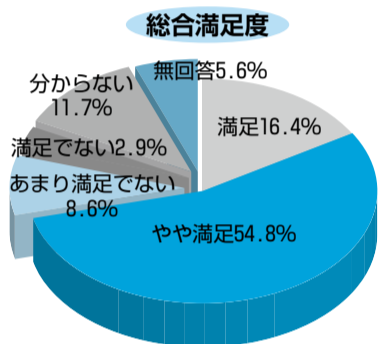
それぞれの目標値に対する達成率を100点満点で点数化

- 90点以上…順調
80点以上90点未満…おおむね順調
60点以上80点未満…やや遅れ
60点未満…遅延

30施策中28施策が「順調」2施策は「おおむね順調」

市民満足度調査結果

《期間》平成28年7月6日～25日
《対象》住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の18歳以上の男女4000人。うち回収結果1841人(46.0%)



- 《調査分野》①子育て、福祉、保健・医療（5問）
②市民生活、安心・安全、防災（7問）
③教育、生涯学習、文化、スポーツ（6問）
④環境、河川（6問）⑤都市、道路・交通（4問）
⑥産業、労働（4問）⑦行政経営（5問）

Table with 2 columns: 満足度上位3項目, 満足度下位3項目. Top items include resource allocation, fire/medical services, and medical care. Bottom items include multicultural society, employment environment, and human rights.

外部評価結果

市民の皆さんの意見を取り入れた事業を運営するため、今年7月、八つの事業について外部評価を実施しました。

行政経営課 ☎225-2280



7月に実施した外部評価

《実施した対象事業と結果》

Table with 2 columns: 評価区分, 評価対象事業. Rows include current status, improvement (content/method), improvement (expansion), and improvement (reduction).

みんなの意見で誇れるまちに

より良いまちをつくるには、市民の皆さんの意見を的確に把握することが不可欠です。市では施策評価や市民満足度調査の他にも、公募市民や外部評価委員、外部モニターによる外部評価も実施（右欄参照）。今後も、市の取り組みを評価・点検し、市民の皆さんが誇れるまちづくりを進めていきます。

企画政策課 ☎225-2455

評価や調査の結果は、市ホームページや市政情報コーナーで公開しています。

ひとまち元気



プロジェクト発足に期待を込めて

市長 小林 常良

「厚木発！ロボットを活用した地域在宅高齢者支援サービスプロジェクト」が、先月4日に発足しました。超高齢社会に対応した全国初の在宅介護支援モデルの構築を目指し、生活支援ロボットやインターネットを使った見守りシステムの開発などを産学官で進めていきます。

「最期まで自宅で過ごしたい」「子どもたちに迷惑を掛けたくない」。このような思いを抱え、独り暮らしや老老介護で日々を過ごすお年寄りは増えています。そのような中で介護ロボットや見守りサービスが実用化されれば、私たちの暮らしに安心が広がるのは間違いありません。プロジェクトは中小機構などの支援事業に採択され、当面の活動には補助金が充てられます。厚木市は本年度、住んでいる地域を中心に医療や介護、生活支援などが一体的に受けられる「地域包括ケア社会」の実現に向け一歩を踏み出したばかり。今後、プロジェクトの取り組みをうまく融合させ、誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくりにつなげていきたいと思っています。





正しい乗り方を広めようと小学校や自治会で開催している交通安全教室

トピック  
交通安全

# 取り返しのつかない事故を起こす前に 自転車のルールを守ろう

一時不停止や信号無視など、ルールを守らない自転車による事故やトラブルが後を絶ちません。歩行者や周囲に迷惑を掛けないためにも、自転車はルールを守り正しいマナーで運転しましょう。

## 事故の多くは交差点内

近年、市内では交通事故全体の件数が減少する一方で、自転車による事故の割合が高まっています。平成28年の事故件数は776件(10月末現在)。その内、166件(21・4%)は自転車絡んだ事故です。さらに、市民の皆さんから自転車のルールやマナーに関する苦情も増加。数字に表れないトラブルも数多く生じています。

## ルール無視が大きな代償に

自転車事故で最も多いのは、交差点内での出会い頭の事故(52件)。同じく、右左折時の事故(44件)と続きます。これらの中で、自転車の過失が大きい事故の多くは、一時不停止や不十分な安全確認などが原因で発生しています。厚木警察署交通第一課長の来城治さん(41)は「自転車も自動車と同じ車両であるという認識が薄い。自転車でも事故を起こすと賠償責任を負い、場合によっては懲役刑に処されることもある」と厳しい口調で語ります。

## 幼少期からの教育が大切

来城さんは「ルールを正しく理解するには、家庭や学校、職場の協力が重要。特に幼い頃から家庭で、自転車に乗る際の危険性を伝えてほしい」と訴えます。市では、警察や交通関係団体と連携し、交通安全教室や講習会を開くほか、自転車シミュレーターを活用した体験会を実施。幅広い世代にルールやマナー、リスクを伝えていきます。

年末は交通量が増え、事故が多発する時期です。取り返しのつかない事故を起こしてしまう前に、自転車のルールを今一度確認しましょう。  
交通安全課 ☎225-2760

## 年末は交通事故に要注意

12月11日～20日は「年末の交通事故防止運動」を実施します。無事故で新年を迎えるためにも、事故防止に努めましょう。

### ◆交通安全市民総ぐるみ大会 入場自由・無料

- 《日時》12月10日  
13時30分～15時30分
- 《会場》文化会館小ホール
- 《内容》①交通安全功労者などの表彰  
②交通安全をテーマとした落語講演会(出演=立川志菴、柳家小太郎)  
③JAF(一般社団法人日本自動車連盟)によるシートベルトコンビンサー(模擬衝突体験)



交通事故ゼロの目標を宣言

### ◆交通事故防止パレード

- 《日時》12月17日 13時～(雨天中止)
- 《会場》厚木中央公園～あつぎ大通り～本厚木駅前～厚木一番街～厚木中央公園



昨年は約300人が参加

交通安全課 ☎225-2760 ㊿1

## 12月3日～9日は障害者週間 障がいについて考えよう

市では、障がいのある方の自立した生活や社会参加の促進に取り組んでいます。誰もが平等で生きがいを持って暮らせる社会をつくるため、障がいへの理解を深めましょう。

### ◆障がいに対する理解

- ①障がいは誰にでも生じ得るものです。
- ②同じ障がいでも一律ではありません。
- ③外見では分からない障がいもあります。
- ④周囲の理解や配慮があればできることがあります。

### ◆日常生活や事業活動での配慮や工夫

- ①困っていそうな場面を見掛けたら「何かお困りですか」と一声掛けて、手伝いましょう。
- ②商品やサービスを提供する際は、どのような配慮が必要か尋ねましょう。
- ③「障がいがあるから」と決め付けず、それぞれの個性や能力を生かすことを一緒に考えましょう。

### 売上げは、障がい者の生活支援に 障がい者の手づくり製品展示・即売会 ㊿1

- 《日時》①12月3日 10時～16時 手作りのカバンや雑貨を販売  
②12月7～9日 10時30分～14時30分
- 《会場》①アミューあつぎ9階 ②市役所本庁舎正面玄関



あつぎ 元気Wave  
ケーブルTV12/1～  
障がいに関するマークを紹介

障がい福祉課 ☎225-2221

## 12月は地球温暖化防止月間 家庭でできる身近な温暖化対策

地球温暖化の主な原因は二酸化炭素の増加です。家庭からの排出量は、全体のおよそ2割に上ります。温暖化を防ぐために、まずは家庭でできる取り組みから始めましょう。

### ①電気の消費量を減らそう

家族が同じ部屋で過ごすことで、電気を抑える。



### ②最新家電に買い替えよう

最新の電化製品は省エネ性能が格段に向上。10年前に買った500ℓの冷蔵庫を買い替えると、約65%の節電ができる。



### ③「家庭エコ診断」を活用しよう

専門家がライフスタイルや地域特性に応じて省エネ提案。

環境省 家庭エコ診断 検索



### ④太陽光パネルを設置しよう

自宅に太陽光発電システムを導入すれば、約57%も二酸化炭素の排出を削減。購入の際は、市のスマートハウス奨励金の活用を。



環境政策課 ☎225-2746





保護者ボランティアが、個々の作業ベースに合わせてミシンの扱い方を教える



相川小学校で下校の付き添いをする見守り隊



情報交換をしながら花壇を手入れする「相川小おたすけ隊」

# 地域の力を学校へ コミュニティ・スクール

市内の小中学校で、保護者と学校、地域が一体となって充実した学びの場をつくる、コミュニティ・スクール（以下CS）の取り組みが始まっています。今回の特集では、モデル校に指定されている相川小、戸田小、相川中学校の活動取材。学力や教育力の向上はもちろん、地域に交流の輪を広げるCSの取り組みを紹介します。

図教育総務課 ☎225-2600



掘り方を教えてもらい、焼き芋にするイモを掘る中学生



書道を教える竹花さん（右）

「授業の補佐に参加して、子どもたちの成長を感じられた時がうれしい。前向きに取り組む生き生きとした姿に、私も力をもらっています」と話すのは、「戸田小サポーター隊」の竹花保代さん（48・上落合）。自分の子どもが通う学校の様子を知らりたいという思いから隊に加わり、今では書道や英会話、鍵盤ハーモニカなど5科目のサポーターに携わっています。戸田小の堀口凌さん（6年）は「分からないことがあっても、みんなの前では先生に聞きにくいこともあるので、サポーター隊の人が近くにいると安心」と喜びます。

地域の力は学びの場の環境づくりでも大きな力を発揮。相川小では「おたすけ隊」などの支援チームが、学校の花壇の手入れや校内の草刈り、美化清掃、下校時の見守り、校舎の補修などに携わり、子どもたちが学習に打ち込める環境や、安心して生活できる環境の整備に取り組みんでいます。

## 地域の力で学びを充実

CSとは、このように学校の運営に保護者や地域住民などが参加する仕組みです。学校の運営方針などを話し合う学校運営協議会で、それぞれの立場から意見を出し合い、必要な支援を検討、実行しています（右下欄参照）。日本では平成16年に開始。今では国内で約2800校がCSに指定され、その取り組みは大きな広がりを見せています。市内では相川小、戸田小、相川中学校の3校が26年にCSの指定を受けました。各校では保護者や地域住民が、授業での教師の補佐や学校施設の補修・手入れ、登下校時の見守り、学校行事の運営などに参加しています。「さまざまな意見を持つ人が集まり、授業への関わり方や方針などの議論を何度も重ねた。以前より子ども一人一人の学習をきめ細かくフォローできるようになった」と話すのは相川小学校の校長・中村明子さん。「花壇に季節の花が植えられるなど、環境の整備も行き届き、ありがたい」と笑顔を見せます。

## 三者が学校運営に参加

CSとは、このように学校の運営に保護者や地域住民などが参加する仕組みです。学校の運営方針などを話し合う学校運営協議会で、それぞれの立場から意見を出し合い、必要な支援を検討、実行しています（右下欄参照）。日本では平成16年に開始。今では国内で約2800校がCSに指定され、その取り組みは大きな広がりを見せています。市内では相川小、戸田小、相川中学校の3校が26年にCSの指定を受けました。各校では保護者や地域住民が、授業での教師の補佐や学校施設の補修・手入れ、登下校時の見守り、学校行事の運営などに参加しています。「さまざまな意見を持つ人が集まり、授業への関わり方や方針などの議論を何度も重ねた。以前より子ども一人一人の学習をきめ細かくフォローできるようになった」と話すのは相川小学校の校長・中村明子さん。「花壇に季節の花が植えられるなど、環境の整備も行き届き、ありがたい」と笑顔を見せます。

「ミシンがうまく使えないよ」「この縫い方が分からない。相川小の家庭科室で、ナップサック作りに苦心する子どもが戸惑いの声を上げています。「一緒にやってみようか」。子どもたちに優しく寄り添うのは保護者や地域の人たち。授業補佐や学校の環境整備に参加し、地域ぐるみで学校づくりに携わっています。」

「授業の補佐に参加して、子どもたちの成長を感じられた時がうれしい。前向きに取り組む生き生きとした姿に、私も力をもらっています」と話すのは、「戸田小サポーター隊」の竹花保代さん（48・上落合）。自分の子どもが通う学校の様子を知らりたいという思いから隊に加わり、今では書道や英会話、鍵盤ハーモニカなど5科目のサポーターに携わっています。戸田小の堀口凌さん（6年）は「分からないことがあっても、みんなの前では先生に聞きにくいこともあるので、サポーター隊の人が近くにいると安心」と喜びます。

## 地域の二員へ

さらに、CSの活動を通して培われた子どもたちと地域住民のつながりは、学校外へと広がりを見せています。11月5日に相川公民館で開催された「第17回こどもまつり」。相川地区青少年健全育成会連絡協議会（以下青健連）や地域の大人たちと一緒にお祭りを実施したのは、相川地区の小・中学生でした。特に活躍していたのは、相川中の生徒による有志ボランティアチーム「焼き芋隊」です。振る舞ったイモは、5月の作

こうした多岐にわたるサポーターは、科目や活動ごとにボランティアを募っています。スケジュールも融通が利くため、自分の都合で気軽に参加できるのが特長。保護者や地域住民に広く門戸を開き、参加のハードルを低くすることで、多くの人を呼び込む狙いがあります。「厚木の出身ではなかったこともあり、地域の取り組みに参加するきっかけにもなった」と振り返る竹花さん。学校が、保護者同士の情報交換の場や、子どもが地域住民と交流できる場にもなっています。

## 市内全校をCSに

今まで、主に学校と行政の両輪で進めていた教育を、地域と保護者も加えた四輪駆動にすることで、教育力の向上を目指すCS。教職員の負担を軽減し子どもと向き合う時間を増やしたり、子どもが地域の一員として成長したり、より触れ合いあふれる地域になったりと、学校・子ども・地域それぞれに大きな効果をもたらしています。CSの普及・支援を担うCSマスターの井上尚子さん（60）は「良い企画があっても、実際に担う人材がいなくては成り立たない。協力してくれる方ばかりではないので、学校づくりの楽しさややりがい、いかに知ってもらえるかが成功の鍵」と訴えます。市では今後、モデル校での検証結果を基に、全校をCSにしていこうと検討しています。各地域の特長を生かした仕組みづくりへ向け、市民の皆さんと力を合わせた取り組みを進めています。

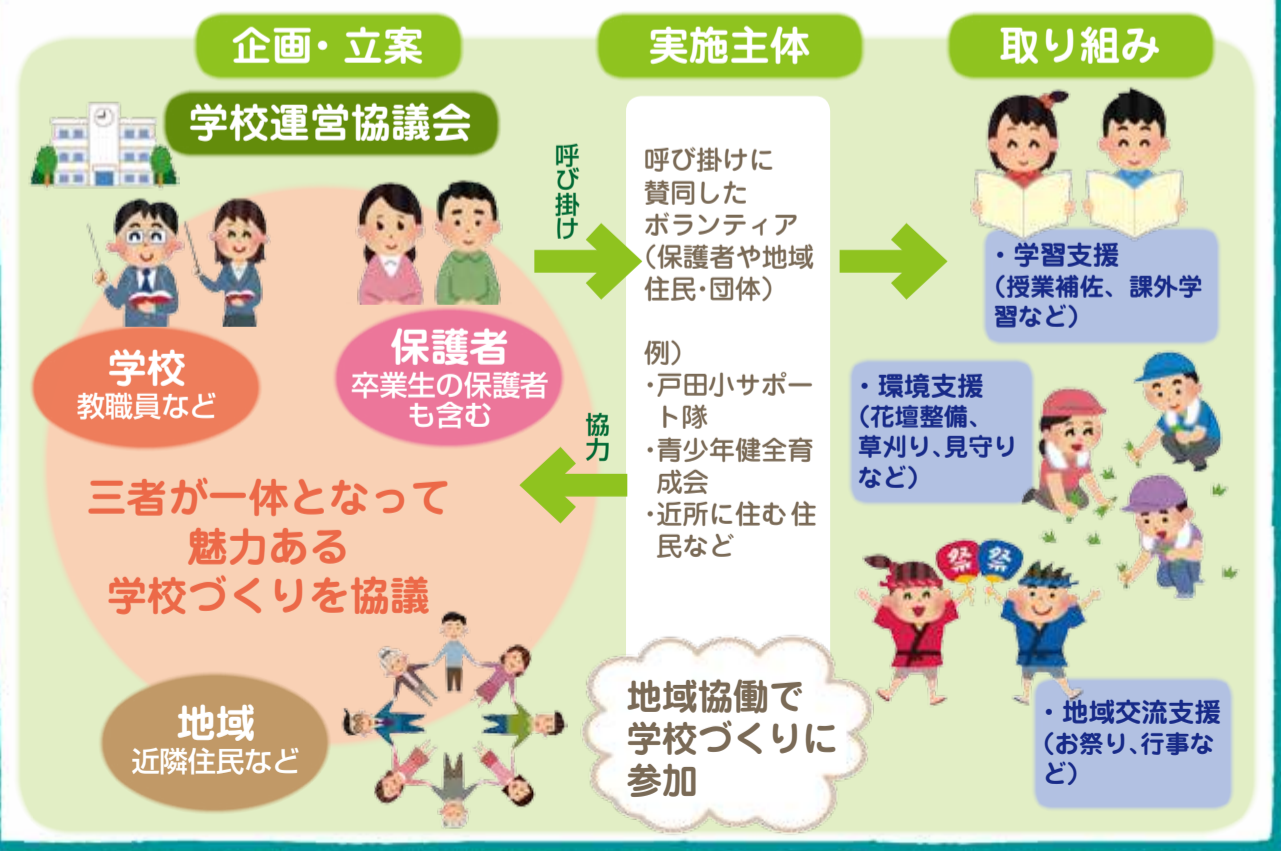
## 三者が一体となって魅力ある学校づくりを協議

「授業の補佐に参加して、子どもたちの成長を感じられた時がうれしい。前向きに取り組む生き生きとした姿に、私も力をもらっています」と話すのは、「戸田小サポーター隊」の竹花保代さん（48・上落合）。自分の子どもが通う学校の様子を知らりたいという思いから隊に加わり、今では書道や英会話、鍵盤ハーモニカなど5科目のサポーターに携わっています。戸田小の堀口凌さん（6年）は「分からないことがあっても、みんなの前では先生に聞きにくいこともあるので、サポーター隊の人が近くにいると安心」と喜びます。

さらに、CSの活動を通して培われた子どもたちと地域住民のつながりは、学校外へと広がりを見せています。11月5日に相川公民館で開催された「第17回こどもまつり」。相川地区青少年健全育成会連絡協議会（以下青健連）や地域の大人たちと一緒にお祭りを実施したのは、相川地区の小・中学生でした。特に活躍していたのは、相川中の生徒による有志ボランティアチーム「焼き芋隊」です。振る舞ったイモは、5月の作

## コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは

コミュニティ・スクールは、学校だけでなく、保護者や地域住民が協働して地域性を生かした学校運営を進めるための仕組みです。学校運営協議会で決めた方針が実施主体となるボランティアに伝えられ、さまざまな取り組みが実施されます。



## 他人事と思わずに積極的な参加を

文部科学省初等中等教育局  
コミュニティ・スクール推進員  
CSマスター 井上 尚子さん(60)



近頃の学校では、総合的な学習の時間という授業を毎週設けています。自ら課題を見つけ、考え、問題を解決する能力を育てる授業です。日々の授業はもちろん、こうした時間をより豊かなものにするには、経験豊富な大人たちの協力が欠かせません。地域の子どもは地域で育てるという意識を持ち、まずは子どもたちに関わろうとすることが大切です。

CSの取り組みが進むと、子どもたちは地域の大人の顔が分かるようになります。日常生活にお互いの存在が溶け込んでいき、大人は子どもにいろいろなことを教えたり、時には学校外で注意や指導をしたりできる関係になっていきます。「時間がない」「自分にできるか心配」という方も安心して下さい。多くの場合、時間や内容は自分で選択できます。資格などは一切不要です。学校側も皆さんを温かく受け入れ、率直な評価や意見を求めてくださるでしょう。参加者同士での情報交換の場にもなり、有意義な時間を過ごすことができると思います。

CSの継続的な運用には、人材の確保が大きな課題です。子どもたちの豊かな成長を育むために、その一歩を踏み出してみましょう。



営に新規参入しようとする方②農地を貸したい方を募集します。

《募集期間》①12月15日～平成29年1月31日②随時。☎電話、ファクスまたはEメールで県農業公社 ☎045-651-1703・FAX045-651-1760・✉jimukyoku@k-nk.or.jpへ。

**市民協働推進委員会の委員を募集**

市民協働推進条例の運用状況の点検などをする委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の付属機関などの委員でない④市の議員・職員でない—の全てを満たす方3人《任期》1月30日から2年間で《報酬》1日7800円(交通費含む)。  
☎市民協働推進課にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項と応募動機(400字程度)を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで1月5日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225-2141・FAX225-4612・✉2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

**フレイル(虚弱)予防サポーターを募集**

《対象》市内在住で、1月10・17日(全2回)の研修と2月の事業に参加できる方20人《内容》フレイル(加齢により筋力や心身の活力が低下した状態)チェックの測定や運営補助《会場》老人福祉センター寿荘(1月10日は茅ヶ崎市)《報酬》なし。  
☎健康長寿課または地域包括支援センターにある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、直接、電話または郵送、ファクス、Eメールで12月22日(必着)までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・FAX221-1640・✉2000@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

**災害に備えてペットの防災対策を**

《平常時の備え》①犬の登録、狂犬病注射、所有者明示、防災グッズの準備②災害時の避難先の確認③近所の人やペットと顔見知りになっておく④散歩コースに避難所を入れる《飼い主の心構え》ペットを守るのは飼い主しかいないと

いう自覚を持ち、長期の避難生活に耐えられる準備をする《避難所での対応》避難している方に配慮し、他の飼い主や動物を扱うプロと協力する。☎生活環境課 ☎225-2750。

**社会福祉協議会職員を募集**

《内容》事務、各種福祉サービス支援業務《対象》①昭和56年4月2日～平成7年4月1日生まれ②社会福祉士の資格を持つか、3月末までに取得見込み③普通自動車(第1種)運転免許を取得しているか、同等以上の免許を持つ—の全てを満たす方若干名《一次試験日》1月22日(教養試験、適性検査、作文)。  
☎社会福祉協議会、市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(社会福祉協議会ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、12月16日～1月12日に直接、社会福祉協議会 ☎225-2947へ。

**市立病院シャトルバスの運行終了**

市立病院と総合福祉センター間を運行するシャトルバスは、12月28日で運行を終了します。12時30分病院発のバスが最終となります。☎経営管理課 ☎221-1570。

**市立病院臨床検査技師を募集**

《試験日》1月8日《対象》昭和57年4月2日以降生まれで①臨床検査技師免許を持つ②平成29年実施の国家試験で取得見込み—のいずれかに該当する方若干名(採用は4月1日以降)。  
☎市立病院、市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、12月20日(消印有効)までに直接または郵送で〒243-8588経営管理課 ☎221-1570へ。病院見学を希望する方は、希望日の10日前までに経営管理課へ。

**民生委員・児童委員の一斉改選**

市内では290の方が厚生労働大臣から委嘱を受けました。民生委員・児童委員は、高齢者や障がい者、児童の問題などについて、

**あつぎ 元気Wave** 12月の広報番組 **ガイド**  
 ケーブルテレビ 12月1日～15日 ◆コミュニティ・スクールで広がる輪  
 あゆチャンネル(11ch) 保護者や地域住民による学校づくりの取り組みを紹介  
 放送時間(15分) ①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。  
 番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

相談や援助、情報提供などをしていきます。福祉に関する困り事があれば、気軽にご相談ください。民生委員には守秘義務があり、個人の情報は守られます。お住まいの区域の民生委員は、福祉総務課にお問い合わせください。☎福祉総務課 ☎225-2200。

**社会保険料控除の対象となる保険料額の通知**

平成28年中に納めた①国民健康保険料②後期高齢者医療保険料③介護保険料は、所得税や市・県民税の申告時に社会保険料控除の対象となります(対象者には1月中旬に通知を送付)。  
☎①国保年金課 ☎225-2123② ☎225-2223③介護保険課 ☎225-2393。

**改正男女雇用機会均等法と改正育児・介護休業法が施行**

1月1日から施行される法律のポイントは①有期契約労働者の育児・介護休業の取得要件が緩和②介護休業の分割取得が可能に③育児休業などの取得対象に特別養子縁組の監護期間中の子、養子縁組里親に委託されている子などを追加④子の看護休暇・介護休暇の半日単位での取得が可能に⑤介護のための所定労働時間の短縮措置などが開始から3年で2回可能に⑥介護のための残業免除が受けられる⑦マタハラ・パタハラなどの防止措置が事業主の義務に—などです。詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。☎県雇用環境・均等部指導課 ☎045-211-7380。

**12月10日～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間**

家族を、人生を奪った北朝鮮による拉致は解決していません。問題

への関心と理解を深めましょう。  
☎市民協働推進課 ☎225-2215。



**《パブリックコメント》**

- 産業マスタープランの改定  
《閲覧期間》12月9日～1月16日。  
☎〒243-8511産業振興課 ☎225-2830・FAX223-7875・✉3900@city.atsugi.kanagawa.jp
  - (仮称)商業まちづくり計画の策定  
《閲覧期間》12月9日～1月16日。  
☎〒243-8511商業にぎわい課 ☎225-2834・FAX223-7875・✉3800@city.atsugi.kanagawa.jp
  - 観光振興計画の改定  
《閲覧期間》12月9日～1月16日。  
☎〒243-8511観光振興課 ☎225-2820・FAX223-0174・✉3850@city.atsugi.kanagawa.jp
  - ◆第10次交通安全計画の策定  
《閲覧期間》12月9日～1月16日。  
☎〒243-8511交通安全課 ☎225-2760・FAX221-0260・✉3400@city.atsugi.kanagawa.jp
- 閲覧場所は、■印は産業振興課、◆印は交通安全課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページ。応募資格は、市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募方法は、閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

**あつぎ健康相談ダイヤル24**  
 健康相談・医療機関情報(救急含む)  
 さわやか1番 よいところ  
 ☎0120-31-4156  
 ◎発信者番号は通知設定でおかけください

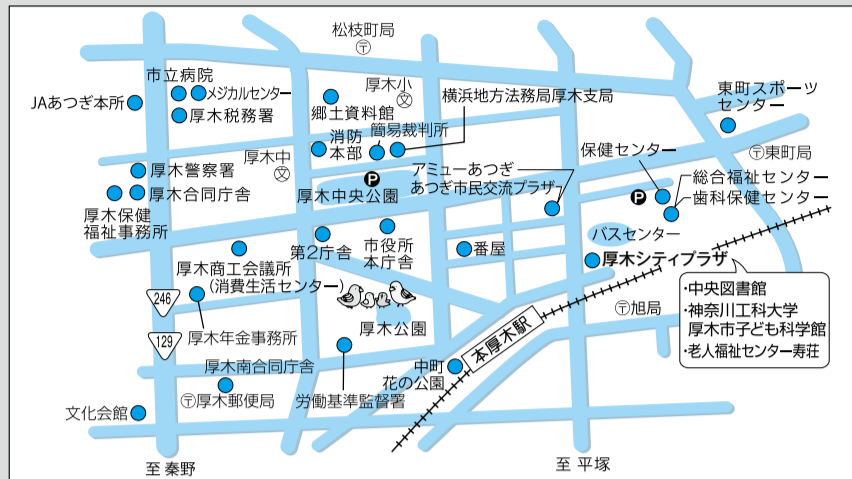
テーマ「最期まで 自分らしく お家で暮らしたい」  
**地域包括ケア市民講演会**  
 市では、今年を地域包括ケア元年として位置付け、「生きがいを感じ、安心して可能な限り住み慣れた地域で生活できる社会」の実現に向けた取り組みを展開しています。講演を通じて、豊かな老後や自分らしい最期について考えてみませんか。  
 《日時》1月23日 13時30分～16時20分 **無料**  
 《場所》文化会館大ホール  
 《講演》第1部 おひとりさまの最期  
 第2部 一人暮らしは明日の我が身～最期まで家で暮らしたい  
 《対象》市内在住在勤在学者と近隣市町村在住者1400人  
 ☎電話またはEメール、ファクス、ハガキに〒住所、氏名、電話番号、参加人数を書き、1月11日(消印有効)までに〒243-8511福祉総務課地域包括ケア推進担当 ☎225-2047・FAX221-2205・✉1900-08@city.atsugi.kanagawa.jpへ。 ☎162533 ☎10

**秘密は厳守**  
**特設人権相談**  
 人権擁護委員が悩み事や近所のもめ事などの相談に応じます。お気軽にご相談ください。  
 《日時》12月7日 9時～12時、13時～16時  
 《場所》市役所本庁舎総合相談コーナー  
 ☎当日直接会場へ。 ☎1  
 ●12月4日～10日は人権週間●  
 昭和23年12月10日に世界人権宣言が採択されたことを記念して定めています。人権は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、等しく尊重されるべきものです。この機会に人権の大切さについて考えてみましょう。  
 ☎市民協働推進課 ☎225-2215

**編集後記**  
 コミュニティ・スクールの取り組みを取材していく中で、自分が経験してきた学校生活との違いが多いことに驚きました。教職員以外の大人が日常的に学校に出入りし、ごく自然に子どもたちと触れ合って授業が進む様子はとても新鮮でした。  
 不思議なのは、物おじせずに地域の方たちとやり取りする子どもたちが、心なしか大人っぽく見えること。より一層社会で生きる力を身に付ける場になっているように感じました。私自身、地域の担い手であるという意識が少なかったため、興味のあることから参加していければと思います。(佐久間)



# タウンガイド



12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

**マイタウンクラブ**  
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①②」と記されたものは、申し込みもできます。www.mytownclub.com [携帯電話は末尾に/cp]  
**Gポイント**  
 ②印は、「あゆこちゃんGENKIポイント」の対象です。参加すると、記載されている数字分のポイントが付与されます。

①=申し込み ②=問い合わせ ☎=電話番号 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール

## アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

12月17日、10時～15時。アミューあつぎ。JAあつぎ農産物直売所が出店し、新鮮な野菜や厚木産「キヌヒカリ」の新米などを販売。☎商業にぎわい課 ☎225-2834。①

## インターナショナルティーサロン

12月11日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。外国籍市民とのクリスマス会（日本語での会話も可）。200円（小学生以下は無料）。☎当日直接会場へ。☎市民協働推進課 ☎225-2215。① 162549 ①

## ふれあいクリスマスコンサート

12月17日、13時～15時。ふれあいプラザ（金田1156）。厚木北高校吹奏楽部によるコンサート。定員100人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎ふれあいプラザ ☎225-2081。①

## 森林セラピー®体験

《夜景観賞会》1月5日、15時30

分～18時。七沢森林公園森の民話館前（七沢901-1）集合。七沢森林公園を歩き、夕焼けと夜景を楽しむ。定員10人。500円（保険料など）。飲み物、懐中電灯などをお持ちください。☎12月27日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。① 162468 ①

## 母子健康教育「離乳食マスターセミナー（カミカミ教室）」

12月20日、10時30分～11時30分。保健センター。離乳食の話と試食、デモンストレーションによるレシピ紹介。市内在住の生後9～11カ月頃（原則第1子）の保護者20人。無料。☎12月1日から健康づくり課 ☎225-2597へ。先着順。① 162497 ①

## 応急手当上級救命講習会

1月21日、9時～17時。消防本部。心肺蘇生法、AEDの取り扱い方法、大出血時の止血法、傷病者の管理法などを学ぶ。市内在住在勤在学中で中学生以上の方30人。無料。☎12月12日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。① 152861 ①

## 斎場施設見学会

12月14日、①10時30分～②13時30分～（各回約90分）。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。各回30人。無料。☎12月1日～13日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。①

## あつぎスポーツアカデミー

■3学期トレーニングアカデミー  
 1月13・20・27日、2月3・10・17・24日、3月3・10・24日（全10回）。17時30分～18時30分。神経系のトレーニング。小学3～6年生40人。各回800円。

## ■3学期かけっこアカデミー

1月14・21・28日、2月4・11・18・25日（全7回）。13時～15時。全身運動を中心に走り方の基礎動作を学ぶ。小学1～3年生40人。各回1000円。

いずれも会場は南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。☎ハガキ、ファクス、Eメールに講座名、〒住所、氏名（ふりがな）、学年、生年月日、電話番号を書き、12月15日（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・FAX248-7151・✉info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

## 体育協会のスポーツ教室

### ■ジュニアバドミントン教室

1月14・21・28日、2月11・18日（全5回）。13時30分～15時30分。東町スポーツセンター。市内在住の小中学生40人。2000円。① 162418

### ■初心者空手道教室

1月15・22・29日（全3回）、10時～11時30分。東町スポーツセンター。市内在住在勤在学の小学生以上の方20人。800円。① 162419

### ◆キッズテニス教室

1月15日、①10時～12時②13時30分～15時30分。東町スポーツセンター。①市内在住の年中～小学3年生30人②市内在住の年中～小学6年生30人。800円。① 162422 ②162423

### ●スキー教室

2月9日20時～12日20時（3泊4日）。蔵王温泉スキー場（山形県）。市

内在住在勤の方70人（児童・生徒を除く）。4万円。① 162540 ①

いずれも内容は基礎技術の講習。☎ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、◆印は希望の部を書き、12月15日（●印は1月3日）（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・FAX248-7151へ。抽選。

## 物忘れ予防・脳いきいき教室～おでかけプログラム～

1月11日～3月1日の水曜（全8回）。10時～12時。あつぎ市民交流プラザ。会場周辺でのウォーキングを取り入れた認知症予防教室。市内在住の65歳以上の方25人（要介護認定者は要相談）。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月15日（必着）までに〒243-8511 健康長寿課 ☎225-2388・FAX221-1640へ。抽選。① 162445 ①

## 後期危険物取扱者保安講習会

2月1日。第1種（給油取扱所）＝9時40分～12時40分。第3種（一般）＝13時20分～16時20分。文化会館。危険物関係法令や災害予防対策、施設の安全管理などの講習。危険物取扱者免状を持ち、危険物を取り扱っている方各270人。4700円（県収入証紙代）。☎消防本部や各分署などにある申請書に必要事項を書き、1月6日（消印有効）までに〒238-0011 横須賀市米が浜通1-7-2-204 県危険物安全協会 ☎826-2177へ。先着順。☎予防課 ☎223-9369。

## 「2つの超高速鉄道の『使い方』」講演会

1月13日、13時30分～15時30分。海老名市文化会館。大阪産業大学教授による東海道新幹線・リニア中央新幹線などに関する講演。定員330人。無料。☎12月22日までに県環境共生都市課 ☎045-210-6033へ。抽選。

## 農地を借りたい・貸したい方を募集

①農地を拡大したい方や農業経

## 秋の叙勲

秋の叙勲が発表されました。市内で受賞された皆さんを紹介いたします。

### 旭日小綬章

**太田 洋さん**  
 (82・林)  
 地方自治功労＝元市議

### 瑞宝中綬章

**名取 勝美さん**  
 (77・寿町)  
 労働行政事務功労＝元労働基準局長

### 瑞宝双光章

**阿部 太郎さん**  
 (70・上依知)  
 教育功労＝元公立小学校長

### 瑞宝双光章

**井上 博史さん**  
 (69・愛川町)  
 消防功労＝元市消防監

### 瑞宝双光章

**永井 隆さん**  
 (68・三田)  
 消防功労＝元市消防監

### 瑞宝単光章

**阿諏訪 静江さん**  
 (65・下古沢)  
 地方自治功労＝元県職員

### 瑞宝単光章

**石山 美代子さん**  
 (61・三田)  
 看護業務功労＝元市立病院看護局長

### 瑞宝単光章

**柏原 清さん**  
 (72・下萩野)  
 消防功労＝元横浜市消防指令

他にも、岩崎弘さん(72・飯山、消防功労＝元横浜市消防指令)と他1人の方が瑞宝単光章を受章しました。

### 農家の丁寧な指導で初心者も安心

## 飯山楽菜園新規利用者を募集

飯山楽菜園は、農家の指導を受けながら、野菜を収穫できる体験型の農園です。自分で育てた野菜を味わってみませんか。

【所在地】飯山3588-4 【募集区画】65区画  
 【年間料金】3万8000円（種苗・農機具代込み）  
 【利用期間】平成29年3月中旬～平成30年1月末



収穫する野菜は年間20種以上

【農園見学】12月1日～25日、9時～16時（要事前連絡）

☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号を書き、1月31日までに管理組合・志村 ☎・FAX241-1946へ。抽選。



厚木市の人口 (11月1日現在)

**人口** 22万5605人  
(男11万6521人、女10万9084人)  
—前月比64人増—

●65歳以上=5万3231人  
(男2万4858人、女2万8373人)

●外国人市民=6209人  
(男3109人、女3100人)

※65歳以上と外国人市民は、住民基本台帳による

**世帯数** 9万6844世帯  
—前月比77世帯増—

※平成27年国勢調査確報値を基準とした推計に移行しました。

## 自らの健康状態を確認 未病改善への取り組み

未病改善とは、普段の生活から、病気にならない健康な体を維持する取り組みです。市では、今年の4月に「未病センターあつぎ」を保健センター内に開設。手軽に健康状態などを測定することができます。他にも、結果を記入できる「健康度見える化手帳」の配布や、保健師などによる個別相談も予約制で実施しています。

**政策ピックアップ**  
**無料**

**チェックできる項目**

- ▽**体組成**  
体重、肥満度、骨格筋量、体脂肪量など
- ▽**血管年齢**  
血管の健康度、脈拍数
- ▽**血圧**  
収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍数
- ▽**骨健康度**  
骨の健康状態を確認
- ▽**脳年齢**  
1~25の数字をタッチして脳年齢を測定

未病改善は健康状態の把握からだ Boo~!

**栄養サポートステーションを開催**  
管理栄養士が貧血と食生活を確り、改善のアドバイスをします。

**日時** 12月13日 10時~12時  
(所要時間は10分程度)

**場所** 保健センター **費用** 無料  
☎当日直接会場へ。先着順。

たくさんの測定機器を設置

問健康づくり課 ☎225-2201

# 厚木の冬物語、始まる

今年も華やかなイルミネーションが、本厚木駅を彩りました。クリスマスにちなんだ、楽しいイベントも開催。厚木の冬を楽しんでみませんか。  
問商業にぎわい課 ☎225-2840

アツギ ブリリアント ストーリー  
**ATSUGI BRILLIANT STORY 2016**

2月14日まで 17時~23時  
(12月23日~25日は25時まで)

LED電球やグリーン電力を使用するなど、環境にも配慮

## クリスマスを楽しもう あつぎDEクリスマス

市内の5大学に通う学生たちが作り上げたクリスマスイベントです。子どもから大人まで楽しめる企画が盛りだくさん。皆さんぜひご来場ください。

- 日時** 12月10日(土) 11時30分~18時
- 会場** 厚木公園
- 内容** ステージパフォーマンス、ハンドメイドの店、ジャズの演奏会、クリスマスツリーの装飾、抽選会など

## アットホームなクリスマスに

あつぎにぎわいアドベンチャー隊 中岡美雪さん(20)



今年で3回目となるクリスマスイベント。僕たち大学生が、市内のクリスマス盛り上げようという思いで、企画・運営の全てを手掛けてきました。今年は、来場者の皆さんと高さ3mのクリスマスツリーを飾ります。恋人や家族、友だち同士で参加いただき、世界に一つしかないクリスマスツリーを一緒に作りましょう。



樹木にもイルミネーションを装飾

## 冬の厚木を楽しんで

まちなか活性化プロジェクト 六ヶ村健三さん(68)



冬の厚木の玄関口を明るく彩るイルミネーションの季節が、今年もやってきました。今回は、「Shining Starry Sky」と銘を打ち、星降る夜空の下に広がる自然豊かな厚木をイメージしました。フォトスポットもありますので、ご家族やご友人たちとお越しただければと思います。

イルミネーションを楽しんだ後は、食事や映画、買い物などで厚木の街を満喫するのはいかがでしょうか。きっと、すてきなひとときを過ごせるはずです。

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。